

令和2年2月教育委員会定例会会議録

令和2年2月5日 開催

静岡市教育委員会

令和2年2月静岡市教育委員会定例会次第

1 日時

令和2年2月5日（水） 午後2時

2 場所

静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指定

(3) 教育長の報告

(4) 議事

議案第33号 静岡市職員定数条例の一部改正について

(5) 報告

報告第12号 静岡市立小学校及び中学校の通学区域の変更に関する諮問について

報告第13号 令和2年度当初予算案について

報告第14号 校長、教頭の登用について

(6) 閉会

令和2年2月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和2年2月5日(水) 午後2時 開会

2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 出席者 教育委員 教育長 池谷 眞樹 委 員 杉山 節雄
委 員 佐野 嘉則 委 員 松村 龍夫
委 員 川村 美智 委 員 藤田 三佐子

教育委員会事務局

教育統括監 望月 敬剛

教育局次長 甲 猛志

教育局理事(教育政策担当) 加納 弘敏

(教育総務課長事務取扱)

教育総務課教育力向上政策担当課長 西島 弘道

教職員課長 南 雅司

教職員課厚生・給与担当課長 小長井健司

参与兼教育施設課長 村上 徹真

学校教育課長 櫻井 守

学校教育課特別支援教育センター担当課長 渡邊 俊夫

児童生徒支援課長 栗田 保孝

学校給食課長 坂井 義則

教育センター所長 岡島 均

中央図書館長 市川 智章

教育総務課課長補佐兼総務係長 海野 祥吾

教育総務課主査 澤野 倫世

4 日 程

(1) 開会

池谷教育長 ただいまから令和2年2月教育委員会定例会を開会いたします。
本日は、杉山節雄委員より所用のため遅れての出席になる旨の申し出がありましたので、お願いいたします。

(2) 会議録署名人の指定

池谷教育長 本日の会議録署名人を松村委員に指定。

(3) 教育長の報告

池谷教育長 資料「2月定例会 教育長報告」により報告
ではここで、ただいまの報告に記載はありませんが、1月に実施した
県外視察についての報告を行いたいと思います。

1月30日から31日にかけて、全委員にご参加いただき、市長及び市長部局職員を含め17名で高知市に行ってまいりました。1日目は高知市立の義務教育学校「土佐山学舎」、2日目は高知県と高知市が共同で整備した新図書館等複合施設である「オーテピア高知」を視察してきました。各委員から、ご感想や確認したいこと等ありましたら報告をお願いします。

佐野委員 土佐山学舎は義務教育学校ということで、1年生から9年生までの児童生徒で小中一貫を実現されておりましたが、特認校制度で53パーセントが校区外から通学しているということが、とても印象的でした。1クラス10数名ですので非常にきめ細かい指導でしたが、わたしから見ると、一人当たり非常にコストがかかった学びだなという印象で、これをそのまま実現するのはなかなか難しいことかなと感じましたが、モデルとしてはとても勉強になりました。1年生から9年間の中で「土佐山学」というものを系統立てて学ぶことであるとか、連続性の中での学びというものは、非常に子どもにとっていい影響があるなという実感は得られましたので、とても勉強になりました。

オーテピア高知図書館については、市民目線、かゆいところに手が届く施設で、利用する価値がある、きめ細やかな対応をされている図書館であるなという印象でした。個人的には、ぜひ静岡市にも欲しいなと思いました。

藤田委員 土佐山学舎では、7、8割の子どもが特別な支援が必要なお子さんということでしたが、授業に参加させていただいていても、どのお子さん

が特別な支援が必要なのかは言われるまでわかりませんでしたね。英語の授業の中で、どのお子さんも積極的に私たちに英語で話しかけてくれたのがとても印象に残りました。土佐山の環境が落ち着かせるんだよという校長先生のお話もありましたように、環境というのは大事だなと思いました。子どもたちが地域の魅力を発信している姿がすごく印象的で、1年生から9年生まででプレゼンを学んで、それぞれ主体的に発表できているのが、すごくいいなと思いました。中山間地でも工夫次第でその地域性を生かして強みに変えていけるということがわかりました。

翌日のオーテピア高知図書館のほうは、複合施設ということで、とても魅力ある建物でした。利用者のために、という館長の言葉がとても心に残っています。商店街には授乳できる場所などがあまりないので、小さいお子さん連れのご家庭のためにこの施設だからこそできることをということでベビールームなどを作って、なるべくたくさんの方に来ていただきたいという配慮もありましたし、利用者のためにという理念が生かされている施設だなと感じました。

川村委員

土佐山学舎では校長先生が「教科の力」ということをおっしゃっていました。義務教育学校というと、とかくシステムとか制度のところが注目されがちですけれども、先生方が教える教科だということを強調されていたのが印象に残っています。教える側もその力量を磨いていくということが重要だと感じました。

オーテピア高知図書館では、地域の中の存在として図書館を含むオーテピアという施設が位置づけられていて、それが教育や文化だけでなく、中心商店街の活性化にも繋がっていることが印象的でした。施設を作るにあたっては関係部署だけではなく、「お城下ネット」という中心部の歴史博物館など様々な文化施設との連携があったり、中心商店街とのお酒を通じた付き合いも含めた話し合い、検討がされていて、「まちゼミ」という講座なんかもあったりして、地域づくりや街づくりの中にこの施設が位置づけられていると感じました。

松村委員

私は行政的な観点と教育効果ということで、二方向から見てきました。行政的な観点では、一緒に視察に行かれた行政職員の方は、施設の展開や教員配置について主眼を置かれて、勉強になったんじゃないかと思えます。教員としては、9年間の小中一貫という言葉を使わずに義務教育学校とした意味を問うた時にはかなりの成果があるんじゃないかと感じました。上級生が必ず下級生とコンビになって面倒を見ているんだということでした。神奈川県に函嶺白百合学園小学校という私学の学校があるんですが、箱根登山鉄道で40分かけて通うので、6年生が必ず1年生を面倒みているそうです、それも同じようなものかなと思いますが、コンビを作ってというのがいいですね。

図書館については、あの施設の設備的な構成というのは勉強する価値

があるなど感じましたが、実は館長さんと最後に少し話をしたときに、どうやって本を読ませることを教育しているのかという質問をしたところ、全く手がつかないというお返事でした。どうやって本を読む気にさせるかということが課題だということでした。本はたくさん揃っている、設備は素晴らしい、採光も素晴らしい。だけどどうやって本を読む気にさせるか。教員の世界では、水を飲みたくない馬を川べりに連れて行っても飲まない、いかに水を飲む気にさせるかが勝負だねってことを言うんだけど、それを痛切に感じましたね。

一緒に行った田辺市長は、建物ばかりの行政じゃだめかななんて市長としての感想を言っておられましたので、市としてもっと教育に力を入れて徹底的にやって欲しいと要望をお伝えしておきました。

池谷教育長 高知市の中でも、土佐山学舎一校に全力投球している感じがすごいなと思いましたね。高知市の中では小中一貫校が二校あるんですが、土佐山学舎にだけ英会話スクールから講師を派遣して、卒業までに英語検定二級合格を目標にして進めているということです。地域から求められて、地域と一体となって進めていく。やる気のあるところには市も全面的に支援していくというかたちがとれているということが印象的でした。まだ静岡市ではどこの学校も同じように、という考えが強いんですけども、そこが違うなということですね。

オーテピア高知図書館はまだ新しい施設ですが来館者が100万人を超えたということです。静岡市の図書館1館で来館者100万人というのはなかなかできないですよ。ただ、松村委員の報告にもありましたように、市民の皆さんにもっと本を読んでいただくにはどうしたらいいかという点については、学校図書館も同じだと思いますね。この視察で得たものを今後の施策に生かしていきたいと思います。

(4) 議事

池谷教育長 それでは、議事に入ります。

お手元の資料、会議の流れをごらんください。

本日は、議案1件の審議を予定しております。また、報告が3件あります。

なお、議案第33号及び報告第13号は、今後、市議会への提案を予定しているものであり、また報告第14号は人事に関する案件です。これらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、非公開の扱いとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各 委 員 異議なし。

池谷教育長 皆様にご承認いただきましたので、これらについては非公開の扱いといたします。

非公開の案件については公開案件の後に審議を行います。

<報告第12号 静岡市立小学校及び中学校の通学区域の変更に関する諮問について>

児童生徒支援課長 資料に基づいて報告

池谷教育長 この件につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いします。

川村委員 特別支援学級が新設されて増えることは、通いやすくなってとてもいいことだと思いますが、やはり現在通っているお子さんについては通い慣れているほうに行きたいというような保護者の希望があった時に、それを優先するというようなご説明でしたけれども、例えば片方の学校に偏ってしまった場合というのは、調整はどのようにされますか。

児童生徒支援課長 その場合でも特に調整はせず、保護者のご希望される学校に通っていただきます。

池谷教育長 この諮問後の予定についてご説明をお願いします。

児童生徒支援課長 今後2月25日に諮問を行いまして、その答申を受けて3月の教育委員会に区域変更の議案を提出させていただきますので、ご審議をお願いいたします。

松村委員 特別支援学級が増えれば、当然そこに携わる教員も増えるということだと思いますよね。今朝の新聞に、静岡県も特別支援教育に力を入れていくという記事が載っていましたが、こういうことは、決定してから新聞に掲載されるんですか。なぜそんなことを言うのかというと、静岡市も特別支援教育には力を入れていくんだぞということを、しっかりと市民の皆さんにお知らせしたほうがいいと思うんだよ。広報するということは大切なことだよね。ただ心配なのは、担当する教員は間に合っているのかというところをまた教えていただきたいです。

特別支援教育センター担当課長 特別支援学級の新設については、検討の当初から教職員課、教育施設課、児童生徒支援課、学校教育課特別支援教育センターの4つの課で調整してまいりました。教員の配置についても、教職員課が承知した上で進めております。

教育局次長 詳細につきましてはまだ一部非公開の内容もございますので、この後の非公開での報告案件でご説明させていただきます。

川村委員 決定した段階で、ぜひ保護者への説明を丁寧にお願いします。

池谷教育長 そのほかよろしいでしょうか。

各 委 員 意見・質問なし。

池谷教育長 2月25日に開催する静岡市立小学校及び中学校通学区域審議会に諮問し、答申を受けて決定ということになります。
それでは、この件については、以上といたします。
以上で公開案件を終了いたします。
ここからは非公開の案件となります。
傍聴されている方につきましては、恐れ入りますが、御退室をお願いいたします。

<議案第33号 静岡市職員定数条例の一部改正について>（非公開）

教育局次長 議案説明

各 委 員 承 認

<報告第13号 令和2年度当初予算案について>（非公開）

教育局次長 資料に基づいて報告

各 委 員 了 承

<報告第14号 校長、教頭の登用について>（非公開）

教職員課長 資料に基づいて報告

各 委 員 了 承

(5) 閉会

池谷教育長　　以上で、令和2年2月教育委員会定例会を閉会します。

午後3時10分